

令和3年度 高知県普通会計決算見込みについて（ポイント編）

1 歳入歳出決算額の状況

（単位 百万円、％）

○**県税の増加や新型コロナウイルス感染症への対応などにより、歳入・歳出ともに前年度を上回った。**

○**当該年度に属するべき収入と支出の実質的な差額である実質収支は、19億94百万円の黒字となった。**

（注）令和2年度の実質収支52億7百万円には新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の返還見込額31億5百万円を含む。

区分	R3年度	R2年度	増減額	増減率
歳入総額 A	543,650	507,676	35,974	7.1
歳出総額 B	530,079	492,330	37,749	7.7
形式収支 C (A-B)	13,571	15,346	△1,775	△11.6
繰り越すべき財源 D	11,577	10,139	1,438	14.2
実質収支 E (C-D)	1,994	5,207	△3,213	△61.7

① 歳入科目の主な増要因

R2：5,076億76百万円 → R3：5,436億50百万円（+359億74百万円）

○法人事業税の増などに伴い、**県税が前年度比で72億67百万円の増**となった。また、国の経済対策に対応した普通交付税の追加交付などにより、**実質的な地方交付税（地方交付税＋臨時財政対策債）が前年度比で224億78百万円の増**となった

② 歳出科目の主な増要因

R2：4,923億30百万円 → R3：5,300億79百万円（+377億49百万円）

○新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた県内事業者向けの臨時給付金の増などにより、**補助費等が前年度比で103億89百万円の増**となった。また、国の防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化等への対応に伴う公共事業の増などにより、**普通建設事業費が前年度比で143億25百万円の増**となった。

2 各財政指標の状況

○**財政構造の弾力性を示す経常収支比率（※）は、前年度比で6.5ポイント減少し、89.6%に改善。**

○**県債残高は、防災・減災・国土強靱化事業債など、地方交付税措置率の高い地方債を積極的に活用し、防災・減災に資するインフラ整備を加速化した結果、前年度より増加。**

① 経常収支比率

○**県税や実質的な地方交付税の増に伴い、算定の分母となる経常一般財源等総額が増となったことから、前年度から改善した。**

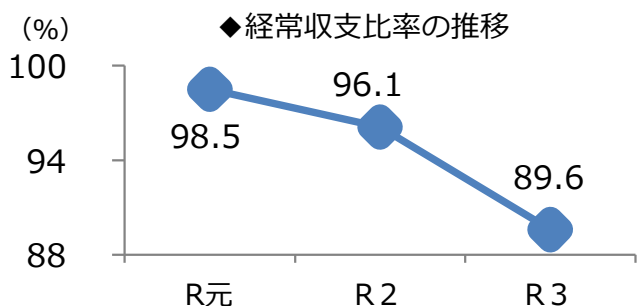
② 県債残高

○**県債残高総額**

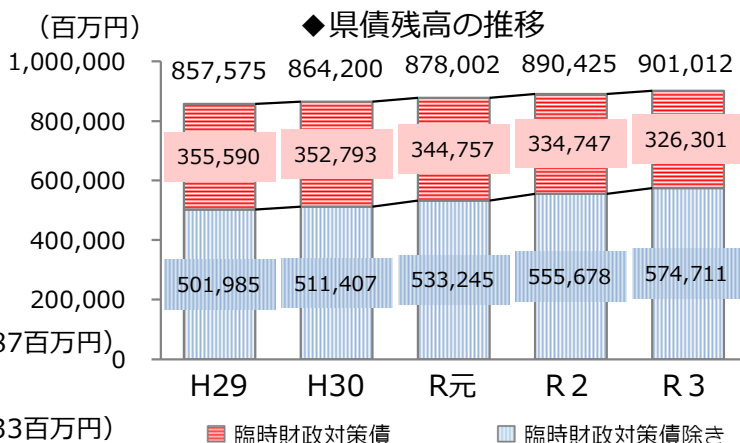
R2：8,904億25百万円 → R3：9,010億12百万円（+105億87百万円）₀

○**臨時財政対策債を除く県債残高総額**

R2：5,556億78百万円 → R3：5,747億11百万円（+190億33百万円）



（※）経常収支比率：経常経費充当一般財源等／経常一般財源等総額



3 将来に向けた基金の確保

○**財政調整的基金は、令和4年度当初予算の財源不足への対応（財政調整的基金の103億96百万円の取崩しなど）のため、県税等の増加分を活用して積み立てを行った結果、前年度比で124億76百万円増加し、R3年度末残高は328億13百万円。**

